

1万3000人が災害に備え

総合防災訓練を開催



心肺蘇生法を学ぶ市民ら

9月の防災週間に合わせ、大規模災害に備えた総合防災訓練を開催し、市職員や市民らおよそ1万3000人が参加しました。

玉川小学校では、玉川地区の自主防災隊が中心となって、シエクアウト訓練をはじめ、要支援者への声掛け手順や消火器・自動体外式除細動器（AED）の使い方などを確認。訓練を運営した同隊長の加藤隆さん（72）は「災害が起きたときは、まず自分で自分の身を守る自助が大切。訓練や日頃の関わり合いが生かされると思う」と話していました。厚木中央公園では、市職員らが避難所の照明や扇風機などの電力供給に使う発電機の使い方、災害用トイレの設置方法を学びました。

夏の終わりを楽しむ大人のイベント

あつぎジャズナイトを3年ぶりに開催

バンドの生演奏などが楽しめるイベントが、厚木公園で開催されました。会場には仕事帰りの方や子ども連れなどおよそ4000人が訪れ、ジャズの音色に耳を傾けていました。

イベントは、中心市街地の活性化とにぎわいづくりのため、まちなか活性化プロジェクトが2010年から実施。感染症の影響で、3年ぶりの開催となりました。今回は感染対策として、日程・時間を短縮し、酒類の提供はあくすなどの対策が取られました。会場に訪れていた牧野寿卓さん（35）は「3年ぶりということで来てみた。演奏が生き生きしていて楽しい」と話していました。



出演者らのパフォーマンスに酔いしれた



「あつぎいろ」で街ににぎわい

本厚木駅前に巨大モニュメントが登場

9月、市の玄関口である本厚木駅前北口広場に、「ATSUGI」の文字をかたどった横幅6m・高さ2mの白いモニュメントが設置されました。モニュメントは、商業者や市民らでつくるまちなか活性化プロジェクトが初めて設置。明るく元気なまちを演出し、感染症拡大の影響を受けている商業者への支援と、厚木を訪れるきっかけづくりのために実施しました。SNSで写真の投稿や情報の拡散をしたり、写真を協力店舗で見せたりするとお得な優待が受けられるキャンペーンも開催しました。

優待サービス実施店の南谷洋樹さん（35）は「コロナ禍で客足が戻らない中、モニュメントやキャンペーンが厚木に来るきっかけになればうれしい」と話していました。



夜は鮮やかな色にライトアップされた

全国優勝の喜びを報告

厚木商業高校ソフトボール部が市長表敬

厚木商業高校ソフトボール部が、8月に高知県で開催された全国高等学校総合体育大会で優勝し、市長を表敬訪問しました。部長14人と顧問や同校長らが市役所を訪れ、優勝の喜びを報告しました。

この日は、主将の矢藤瑠璃花さん（3年）をはじめ、部員全員が1人ずつあいさつ。矢藤さんは「地域や卒業生など、周りのサポートがあつて日本一になった。たくさんの応援をいただき感謝している」と笑顔を見せました。小林市長は「仲間への思いやりや気持ちの強さが結果につながったと思う。おめでとうございませう」と祝福しました。同部は、3月開催の選抜大会準決勝で敗れた山梨学院高等学校に決勝で勝利し、10年ぶり8度目となる優勝を果たしました。



市長に喜びを報告する矢藤さん



第12回 みんなで! SDGs

SDGs（持続可能な開発目標）の実現のために設定された17の目標を知り、できることから実践しませんか。

目標4 質の高い教育をみんなに

世界では、子どもたちの約8%が小学校に通っていません。誰もが公平に、質の高い教育を受けられる社会となるよう、私たちにできることを考えましょう。

4 質の高い教育をみんなに



できる取り組みは？

世界の教育に対する理解を深める

日本では義務教育制度が確立され、世界と比べると教育水準が高いため、世界の教育の現状をイメージするのは難しいかもしれません。まずは世界の現状に対する理解を深めることから始め、「私たちに何ができるのか」を考えてみましょう。



教育ボランティア活動への参加

教育に関するボランティア活動は、勉強や野外活動、工作を教える教室など、多岐にわたっています。教育はあらゆる人が対象であり、地域の子育てボランティアなども教育につながる活動の一環です。

企画政策課 ☎225-2450

二酸化炭素排出量を2050年までに実質ゼロへ。厚木市は昨年2月、「ゼロカーボンシティ」を表明しました。今年度は五つの最重要事項の一つに「カーボンニュートラル（CN）」を位置付け、実現に向けた道筋や皆さんに参加していただくための仕組みを整えています。

7月26日には、市内の企業や大学などと連携していくため、「CN推進ネットワーク」を設立。翌月31日には、



23団体の皆さんと共同宣言

参加団体が一丸となって進んでいくための共同宣言を発し、各団体の皆さんから取り組みを広めるための意気込みや使命感などの熱い思いをお聴きしました。

CNとは、二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスの排出量から、植林などによる吸収量を引いた合計を実質ゼロにすること。気候変動を抑えるため、地球規模での取り組みが進められています。

日本列島は今夏、異常な猛暑に見舞われました。気候変動を放置すると、こうした異常気象のリスクが高まるといわれています。この美しい地球と私たちの大切な未来を守るため、皆さんと共に気候変動対策に貢献できよう、取り組んでまいります。